

科目名		保育実習指導Ⅰ					開講 キャンパス	神 園	
担当者		櫻井 京子・二宮 貴之・井上 聖子・江口 利也・森 研史朗							
開講年次		2～3	開講期	通年	単位数	2	必修・選択	選 択	
授業の概要 及びねらい		保育実習Ⅰをより効果的に行うための授業である。保育所や施設の概要を知り、現場での実習の充実を図るため、各保育実習の目的や内容、実習日誌の記入方法・指導案作成等について学習する。また、保育実習に伴う諸手続や必要な文書の作成方法について学習する。さらには実習後の反省を通して自らの課題の発見に努め、次の実習の礎とする。							
授 業 の 到 達 目 標		1) 保育実習の意義・目的や実習の心得を述べることができる。 2) 年齢別保育（子どもの姿、かかわり方、遊び）や利用者への配慮について説明できる。 3) 指導案（日案）を作成することができ、その内容について説明できる。 4) 実習日誌の意義と記録方法を述べることができる。 5) 実習の成果と課題を述べたり、友人の体験を傾聴し、保育観を述べることができる。 6) 次の実習までに改善が必要となった課題や具体的な学習内容を述べることができる。 7) 実習先へのお礼状の重要性を理解し、書くことができる。							
学 習 方 法		1) 講義受講（プリント、DVD等使用） 2) 教材研究したものを互いに発表し合い、模擬保育を体験する。 3) 実習レポート作成や体験発表を通して、自己反省を行い自己課題を把握する。 4) 各実習の体験発表等からより深く学び、保育観を構築する。							
テキスト及び参考書等		テキスト：①保育所保育指針 解説書 厚生労働省編 フレーベル館 ②「幼稚園教育実習」「保育実習」の手引き（本学子ども学部発行） 参考図書：③保育園 幼稚園の実習 完全マニュアル 林幸範・石橋裕子編著 成美堂出版							
評価基準・方法		到達目標							
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%			
定期試験									
小テスト等									
宿題・授業外レポート		◎				◎		40	
授業態度				◎				20	
受講者の発表		○				○		20	
授業への参加度				◎				20	
その他									
合 計								100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)									
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）									
通 年	第1週	施設見学実習オリエンテーション							
	第2週	施設見学実習の実施とふり返り							
	第3週	講義の内容と計画							
	第4週	事前指導 保育実習Ⅰの意義・目的・概要							
	第5週	保育実習Ⅰの流れ・日程							
	第6週	保育実習Ⅰ（保育所）実習先の紹介と実習の手続き・実習内容							
	第7週	保育所の目的・1日の流れ・保育士の職務内容							
	第8週	年齢別保育内容と援助①							
	第9週	年齢別保育内容と援助②							
	第10週	年齢別保育内容と援助③							
	第11週	保育実習Ⅰ（保育所）の依頼・手続き等							
	第12週	実習依頼文書等の記入の仕方と諸注意							
	第13週	観察記録のとり方							
	第14週	実習日誌の記入方法							
	第15週	指導計画立案の方法①							
	第16週	指導計画立案の方法②							
	第17週	指導計画立案・教材準備①							
	第18週	指導計画立案・教材準備②							
	第19週	保育所実習の心構え・諸注意							
	第20週	保育実習Ⅰ（施設）実習先の紹介と実習の手続き・実習内容							
	第21週	施設実習先決定 施設実習学習計画作成							
	第22週	施設の目的・概要 各種別について①							
	第23週	施設の目的・概要 各種別について②							
	第24週	施設職員による講話 オリエンテーションの状況報告							
	第25週	事後指導 保育所実習の体験レポート作成と課題の発見 個人							
	第26週	保育所実習の成果と課題 発表・協議 グループ・全体							
	第27週	施設実習の体験レポート作成と課題の発見 個人							
	第28週	施設実習の成果と課題 発表・協議 グループ・全体							
	第29週	個人面談①							
	第30週	個人面談②							
	第31週								
	第32週								
備 考		・ 正当な理由なく実習指導を欠席した場合、実習には参加できない。 ・ 提出物等は決められた期限を厳守すること。 ・ 授業外学習（事前学習・事後学習）を適宜行うこと。 ・ 学生便覧の実習の履修内規を熟読すること。内規に反した場合は実習に参加できない。							